

2019年度 全国研究集会

「専門図書館員／インフォプロのキャリアアップを目指して」

午前部 (10:30～12:00)

第1分科会

「マーケティング情報を活用する」

講師：伊藤 正啓氏（株日本能率協会）

昨今、図書館におけるビジネス支援への需要が高まっています。第1分科会では、専門図書館のビジネス系レファレンスに役立つマーケティング情報収集の基本を学びます。国・業界団体・海外諸機関の統計や各種調査レポート等、数多くの情報が存在する中から必要な情報を探す方法、各情報源の特徴と注意するポイントを解説します。また、情報収集の基本ステップを踏まえ、今後の成長産業を予測するケーススタディを行います。

司会：橋石もも子（(公財)東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館図書室）
運営：未定

表彰者披露式 (15:10～15:30)

※ 17:00より会員交流会を開催いたします。

第2分科会

「ジャパンサーチの世界（仮）」

講師：高橋良平氏

（国立国会図書館電子情報部電子情報企画課 連携協力係長）

話題のジャパンサーチを取り上げます。分野横断総合ポータルとして話題になっていますが、具体的な構造や特徴はどこにあるのかなど、興味は尽きません。この分科会では、専門図書館の職員としてその概要を知るとともに、専門図書館としてどのように貢献できるか、データの提供や利活用についての具体的な事例などを伺います。

司会：森 未知（(独)国立女性教育会館）
運営：青柳英治（明治大学）

第3分科会

「著作権法の“いま”
～現場での事例研究を中心に～（仮）」

講師：舟越瑞枝氏

（国立国会図書館調査及び立法考査局 文教科科学技術課副主査）

専門図書館で業務を進めるに当たり、著作権法ほど有用であり、またデリケートな法律はありません。この著作権法は2018年度に大きく改正されました。著作物等の保護期間の延長はもとより、デジタル資料の送信に関する事など、毎日の業務と密接な改正が盛り込まれました。こうしたことを踏まえ、現場で生じる著作権に関する新しい事例を研究検討します。

司会：山崎美和（東京国立博物館）
運営：永井昌史（日本化学株）・望月聖子（三井化学株）

午後部 (13:00～15:00)

第5分科会

「専門図書館の存在を高める
広報戦略」

講師：矢野陽子氏
（防災専門図書館）

専門図書館がその存在価値を高めるためには、「広報戦略」が重要になります。本分科会では、防災専門図書館が実施している広報戦略について報告していただきます。広報の対象者は、利用者と母体組織。防災専門図書館では、その両方に広報してこそ存在価値が高められると考え、様々な利用者と経営陣から各部署担当者まで、それぞれに応じた方法でアピールをしています。みなさまの広報戦略の参考となれば幸いです。

司会：柳 一美（株日立製作所）
運営：矢島薫（神奈川県立川崎図書館職員）

第6分科会

デジタルアーカイブを運ぶ動向と構築事例

「デジタルアーカイブ
整備推進法案（仮称）の行方」

数藤雅彦氏
（デジタルアーカイブ学会法制度部会・弁護士）

「帝国データバンク史料館における
デジタルアーカイブの構築」

橋本陽 氏
（帝国データバンク）

専門図書館・情報機関にとってデジタルアーカイブの構築、保存、提供はとても重要な課題となっています。本分科会では、全体動向として「デジタルアーカイブ整備推進法案（仮称）」を運ぶ動向を伺い、次に企業系の情報部門において優れたアーカイブを構築された帝国データバンク史料館の事例発表を通して、各機関におけるデジタルアーカイブ構築の取り組みの参考となる機会にしたいと思います。

司会：高田繁則（キハラ株） 運営：未定

ミニシンポジウム (15:40～16:40)

「専門図書館員／
インフォプロのキャリアデザインを考える」

モデレーター：広瀬 容子氏
（㈱ラビッツワイド代表取締役）

パネリスト：茅根 拓 氏
（(公財)野球殿堂博物館事業部図書室）

：坂井 千晶氏
（(独)国際交流基金日本国際センター図書館）

運営：栗田淳子（国際交流基金ライブラリー）

第4分科会

「身近なことから始める連携：
専門図書館の可能性を拓くネットワークづくり」

大隅一志氏
（旅の図書館）

吉野由麗氏
（アドミュージアム東京ライブラリー）

他機関との連携に取り組む専門図書館に注目が集まっています。各機関によって収集分野や利用者層が異なる中、スタッフの人数が限られているという特性を補い、連携の成果を生んでいる事例を聞くことと手本としたいと感じる一方で、何から始めればよいのか戸惑うこともあるかと思います。そこで、この第4分科会では、積極的に連携の取り組みを手掛けている専門図書館のお話を伺いながら、連携をどのように進めるのか、連携先との意思疎通や継続した取組みへの課題について検討していきます。外との連携だけでなく、図書館内や親機関との連携の取組みについてもお話いただき、連携に向けて動き出すために何が必要なのかについても考えていきます。

司会：新屋朝貴（(公財)三康文化研究所附属三康図書館）
運営：村井友子（(独)日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館）